

独立監査人の監査報告書

2024年3月13日

特定非営利活動法人 国境なき医師団日本
会長 中嶋 優子 様

有限責任 あずさ監査法人
東京事務所

指定有限責任社員 公認会計士 福原 崇二
業務執行社員

監査意見

当監査法人は、特定非営利活動法人 国境なき医師団日本の2023年1月1日から2023年12月31日までの2023年度の貸借対照表、正味財産増減計算書及び財務諸表に対する注記並びに財産目録（以下、これらの監査の対象書類を「財務諸表等」という。）について監査を行った。

当監査法人は、上記の財務諸表等が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して、当該財務諸表等に係る期間の財産、損益（正味財産増減）の状況を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「財務諸表等の監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、法人から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

その他の記載内容

その他の記載内容は、Moral Report活動報告である。理事者の責任は、その他の記載内容を作成し開示することにある。また、監事の責任は、その他の記載内容の報告プロセスの整備及び運用における理事の職務の執行を監視することにある。

当監査法人の財務諸表等に対する監査意見の対象にはその他の記載内容は含まれておらず、当監査法人はその他の記載内容に対して意見を表明するものではない。

財務諸表等の監査における当監査法人の責任は、その他の記載内容を通読し、通読の過程において、その他の記載内容と財務諸表等又は当監査法人が監査の過程で得た知識との間に重要な相違があるかどうか検討すること、また、そのような重要な相違以外にその他の記載内容に重要な誤りの兆候があるかどうか注意を払うことにある。

当監査法人は、実施した作業に基づき、その他の記載内容に重要な誤りがあると判断した場合には、その事実を報告することが求められている。

その他の記載内容に関して、当監査法人が報告すべき事項はない。

財務諸表等に対する理事者及び監事の責任

理事者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して財務諸表等を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表等を作成し適正に表示するために理事者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

財務諸表等を作成するに当たり、理事者は、継続組織の前提に基づき財務諸表等を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に基づいて継続組織に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監事の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における理事の職務の執行を監視することにある。

財務諸表等の監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての財務諸表等に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から財務諸表等に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、財務諸表等の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・財務諸表等の監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・理事者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに理事者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・理事者が継続組織を前提として財務諸表等を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続組織の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続組織の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において財務諸表等の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する財務諸表等の注記事項が適切でない場合は、財務諸表等に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、法人は継続組織として存続できなくなる可能性がある。
- ・財務諸表等の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた財務諸表等の表示、構成及び内容、並びに財務諸表等が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、監事に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

利害関係

法人と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

監事監査報告書

2024 年 3 月 13 日

特定非営利活動法人 国境なき医師団日本
会長 中嶋 優子 殿

監事 森川 光世

私は、監事として、特定非営利活動促進法第 18 条の規定に基づき、特定非営利活動法人国境なき医師団日本の 2023 年度(2023 年 1 月 1 日から 2023 年 12 月 31 日まで)に関して、監査を行いました。その方法及び結果について次の通り報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

(1) 会計監査

私は、理事会その他の重要な会議に出席し、会計役及びファイナンス委員会から財務の管理状況について報告を受け、必要に応じ説明を求め、適正な財務管理が実施されているかを調査しました。さらに、会計監査人が独立の立場を保持し、且つ適正な監査を実施しているかを監視・検証すると共に、その職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。

以上の方法に基づき、私は、当該事業年度に係る会計監査人が監査対象としている財務諸表等について検討いたしました。

(2) 業務監査

私は、理事の業務執行に関する監査については、2023 年度中の理事会その他重要な会議に出席し、理事会及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類などを閲覧し、業務執行の正当性を検討しました。

2. 監査の結果

(1) 監査人が監査対象としている財務諸表等の検討結果

私は、会計監査人の監査方法及び結果は、相当であると認めます。従い、上記の期間に係る計算書類は、特定非営利活動法人国境なき医師団日本の、2023 年 12 月 31 日をもって終了する事業年度の業務執行の状況、経営の状況および同日現在の財政状況を適正に表示しているものと認めます。

(2) 業務監査

私は、理事及び理事会の職務遂行は適切であり、不正の行為または法令もしくは定款その他の法令に違反する重大な事実はないと認めます。

以上

特定非営利活動法人 国境なき医師団日本

貸 借 対 照 表

2023年 12月 31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減	増減比
I. 資産の部				
1.流動資産				
現金および預金	2,777,988,728	2,810,506,330	△ 32,517,602	△1.2%
未収入金	247,872,265	220,130,359	27,741,906	12.6%
前払費用	13,543,284	11,089,782	2,453,502	22.1%
流動資産合計	3,039,404,277	3,041,726,471	△ 2,322,194	△0.1%
2.固定資産				
その他の固定資産 (財務諸表注記 5 参照)				
建物附属設備	1,639,495	2,143,955	△ 504,460	△23.5%
事務用什器・備品	32,513,274	15,697,561	16,815,713	107.1%
ソフトウェア	40,213,293	52,128,673	△ 11,915,380	△22.9%
長期差入保証金等	39,885,940	40,302,940	△ 417,000	△1.0%
固定資産合計	114,252,002	110,273,129	3,978,873	3.6%
資産合計	3,153,656,279	3,151,999,600	1,656,679	0.1%
II. 負債の部				
1.流動負債				
未払金	1,658,509,776	1,909,236,726	△ 250,726,950	△13.1%
預り金等	11,477,787	343,641	11,134,146	3,240.1%
流動負債合計	1,669,987,563	1,909,580,367	△ 239,592,804	△12.5%
2.固定負債				
退職給付引当金 (財務諸表注記 8 参照)	48,471,600	53,993,400	△ 5,521,800	△10.2%
固定負債合計	48,471,600	53,993,400	△ 5,521,800	△10.2%
負債合計	1,718,459,163	1,963,573,767	△ 245,114,604	△12.5%
III. 正味財産の部				
指定正味財産 (財務諸表注記 7 参照)	-	-	-	
一般正味財産	1,435,197,116	1,188,425,833	246,771,283	20.8%
正味財産合計	1,435,197,116	1,188,425,833	246,771,283	20.8%
負債および正味財産合計	3,153,656,279	3,151,999,600	1,656,679	0.1%

正味財産増減計算書

自 2023年1月1日 至 2023年12月31日

(単位：円)

科 目	当年度		前年度		増 減	増減比
	金 額	構成比	金 額	構成比		
I. 一般正味財産増減の部						
1. 経常増減の部						
(1) 経常収益						
①寄付収入 (財務諸表注記 1 (3) 参照)	12,963,469,950	100.0%	13,006,036,409	100.0%	△ 42,566,459	△0.3%
一般個人寄付	11,828,439,989	91.2%	11,852,813,891	91.1%	△ 24,373,902	△0.2%
一般法人寄付	1,038,408,695	8.0%	955,455,551	7.3%	82,953,144	8.7%
その他団体寄付	96,621,266	0.7%	197,766,967	1.6%	△ 101,145,701	△51.1%
②助成金等による収入	26,562,343		12,534,641		14,027,702	111.9%
他のMSFからのグラント	26,562,343		12,534,641		14,027,702	111.9%
③その他の収入	5,617,015		5,110,898		506,117	9.9%
アソシエーション会費収入	474,051		594,157		△ 120,106	△20.2%
利息収入および評価益等	5,142,964		4,516,741		626,223	13.9%
経常収益 合計	12,995,649,308		13,023,681,948		△ 28,032,640	△0.2%
(2) 経常費用 (財務諸表注記 1 (6) 参照)						
ソーシャル・ミッション (①+②+③+④+⑤)	10,099,329,709	81.3%	10,261,046,185	82.4%	△ 161,716,476	△1.6%
①援助活動費	9,512,059,532	76.6%	9,666,173,990	77.7%	△ 154,114,458	△1.6%
人道援助プログラム支援金 (財務諸表注記 9 参照)	9,512,000,000		9,663,014,454		△ 151,014,454	△1.6%
その他の人道援助活動費	59,532		3,159,536		△ 3,100,004	△98.1%
②オペレーション・サポート・プロジェクト	82,214,273	0.7%	78,013,658	0.6%	4,200,615	5.4%
人件費	40,478,674		38,199,001		2,279,673	6.0%
その他 (家賃、旅費交通費、減価償却費等)	41,735,599		39,814,657		1,920,942	4.8%
③海外派遣スタッフ募集・派遣業務	148,864,845	1.2%	163,954,908	1.3%	△ 15,090,063	△9.2%
人件費	95,208,343		97,724,071		△ 2,515,728	△2.6%
その他 (家賃、旅費交通費、減価償却費等)	53,656,502		66,230,837		△ 12,574,335	△19.0%
④アドボカシー活動費	34,403,881	0.3%	30,398,170	0.2%	4,005,711	13.2%
人件費等	34,403,881		30,398,170		4,005,711	
⑤広報活動費	321,787,178	2.6%	322,505,459	2.6%	△ 718,281	△0.2%
人件費	128,643,845		130,835,105		△ 2,191,260	△1.7%
ニュースレター・イベント等による広報活動費	105,049,000		100,158,713		4,890,287	4.9%
業務委託手数料等	42,327,166		42,584,016		△ 256,850	△0.6%
その他 (家賃、旅費交通費、減価償却費等)	45,767,167		48,927,625		△ 3,160,458	△6.5%
募金活動費	2,060,383,209	16.6%	1,913,172,154	15.4%	147,211,055	7.7%
人件費	247,351,645		222,714,054		24,637,591	11.1%
ファンドレイジング・キャンペーン費	1,438,132,319		1,341,112,487		97,019,832	7.2%
業務委託手数料およびシステム関連費	144,332,700		139,564,994		4,767,706	3.4%
通信および書類等発送費	69,318,509		70,303,348		△ 984,839	△1.4%
印刷費	27,913,517		26,650,378		1,263,139	4.7%
その他 (家賃、旅費交通費、減価償却費等)	133,334,519		112,826,893		20,507,626	18.2%
マネジメントおよび一般管理費	257,709,831	2.1%	273,934,634	2.2%	△ 16,224,803	△5.9%
人件費	130,619,691		140,823,511		△ 10,203,820	△7.2%
アソシエーション関連経費 (人件費を除く)	22,820,012		10,925,932		11,894,080	108.9%
その他 (家賃、旅費交通費、減価償却費等)	104,270,128		122,185,191		△ 17,915,063	△14.7%
その他海外向け支援金等	331,455,277	-	574,468,017	-	△ 243,012,740	△42.3%
DNDiへの支援金	26,348,632		23,546,455		2,802,177	11.9%
必須医薬品キャンペーン支援金	35,738,704		32,321,439		3,417,265	10.6%
MSFインターナショナル事務局経費	269,367,941		232,714,577		36,653,364	15.8%
MSF韓国事務所活動支援金	-		285,885,546		△ 285,885,546	△100.0%
経常費用 合計	12,748,878,026	100.0%	13,022,620,990	100.0%	△ 273,742,964	△2.1%
2. 経常外増減の部						
(1) 経常外収益						
過年度損益修正益	1		-		1	-
経常外収益 合計	1		-		1	
(2) 経常外費用						
経常外費用 合計	-		-		-	
一般正味財産当期増減額	246,771,283		1,060,958		245,710,325	-
一般正味財産期首残高	1,188,425,833		1,187,364,875		1,060,958	-
一般正味財産期末残高	1,435,197,116		1,188,425,833		246,771,283	-
II. 指定正味財産増減の部						
1. 使途指定寄付金受入額	45,777,000		182,373,659		△ 136,596,659	-
2. 一般正味財産への振替額	45,777,000		182,373,659		△ 136,596,659	-
指定正味財産当期増減額	-		-		0	-
指定正味財産期首残高	-		-		0	-
指定正味財産期末残高	-		-		0	-
III. 次期繰越正味財産期末残高	1,435,197,116		1,188,425,833		246,771,283	20.8%

財産目録

2023年 12月31日 現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金および預金	2,777,988,728	2,810,506,330	△ 32,517,602
手許現金	-	21,000	△ 21,000
普通預金 (株)三菱UFJ銀行)	377,470,026	1,187,949,629	△ 810,479,603
普通預金 (株)三井住友銀行)	1,767,501,122	419,013,647	1,348,487,475
普通預金 (株)みずほ銀行)	166,361,089	110,102,522	56,258,567
振替貯金 (株)ゆうちょ銀行)	190,035,580	883,077,936	△ 693,042,356
普通預金 (楽天銀行株)	57,937,015	31,244,241	26,692,774
普通預金 (住信SBIネット銀行株)	50,839,678	28,686,672	22,153,006
普通預金 (住友信託銀行株)	43,461,453	37,703,378	5,758,075
普通預金 (三菱UFJ信託銀行株)	13,692,031	11,354,652	2,337,379
定期預金 (株)三井住友銀行)	100,000,000	100,000,000	-
PAYPAL	10,690,734	1,352,653	9,338,081
未収入金	247,872,265	220,130,359	27,741,906
未収金	127,135,452	119,460,022	7,675,430
MSF フランス	14,411,796	13,857,596	554,200
MSF インターナショナル・オフィス	27,108,854	12,902,864	14,205,990
MSFオペレーション事務局 (海外派遣者経費) 等	77,971,525	70,251,566	7,719,959
その他未収入金	1,244,638	3,658,311	△ 2,413,673
前払費用	13,543,284	11,089,782	2,453,502
流動資産合計	3,039,404,277	3,041,726,471	△ 2,322,194
2. 固定資産			
建物附属設備	1,639,495	2,143,955	△ 504,460
事務所内装工事	1,639,495	2,143,955	△ 504,460
事務用什器・備品	32,513,274	15,697,561	16,815,713
什器	1,700,353	1,681,622	18,731
器具備品	30,536,281	14,015,939	16,520,342
ビデオ機器	276,640	-	276,640
ソフトウェア	40,213,293	52,128,673	△ 11,915,380
長期差入保証金等	39,885,940	40,302,940	△ 417,000
事務所等の敷金	39,885,940	40,302,940	△ 417,000
固定資産合計	114,252,002	110,273,129	3,978,873
資産合計	3,153,656,279	3,151,999,600	1,656,679
II. 負債の部			
1. 流動負債			
未払金(人道援助プログラム支援金)	1,303,447,231	1,285,448,042	17,999,189
MSF フランス	780,000,000	657,054,454	122,945,546
MSF スペイン	260,000,000	314,380,000	△ 54,380,000
MSF スイス	65,000,000	78,495,000	△ 13,495,000
MSF オランダ	68,447,231	78,528,588	△ 10,081,357
MSF ベルギー	65,000,000	78,495,000	△ 13,495,000
MSF WaCA	65,000,000	78,495,000	△ 13,495,000
未払金 (国内事業経費・その他)	355,062,545	623,788,684	△ 268,726,139
預り金等	11,477,787	343,641	11,134,146
その他	11,477,787	343,641	11,134,146
流動負債合計	1,669,987,563	1,909,580,367	△ 239,592,804
2. 固定負債			
退職給付引当金 (財務諸表注記 8 参照)	48,471,600	53,993,400	△ 5,521,800
固定負債合計	48,471,600	53,993,400	△ 5,521,800
負債合計	1,718,459,163	1,963,573,767	△ 245,114,604
III. 正味財産の部			
指定正味財産	-	-	-
一般正味財産	1,435,197,116	1,188,425,833	246,771,283
正味財産合計	1,435,197,116	1,188,425,833	246,771,283
負債および正味財産合計	3,153,656,279	3,151,999,600	1,656,679

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 財務諸表の作成基準

「公益法人会計基準」(平成 20 年 4 月 11 日 平成 21 年 10 月 16 日改正 内閣府公益認定等委員会)を採用している。

(2) 固定資産の減価償却の方法

① 有形固定資産 定額法によっている。

耐用年数

建物附属設備および什器 3～5 年

器具備品およびビデオ機器 3～15 年

② ソフトウェア 定額法によっている。

耐用年数 3～5 年

(3) 収益の認識

寄付収入は原則として、現金主義に基づき認識している。

現物寄付の扱い：MSF 日本は金銭以外にも、現物寄付として、医薬品、ソフトウェア等の支援を受けている。これらの現物寄付は取得時に合理的に価額を見積もり、「寄付収入」として認識し、事業供用時に費用を計上している。

(4) 引当金の計上基準

退職給付引当金

職員に対する退職金の支給に備えるため、退職金規定に基づく期末要支給額を計上している。

(5) 消費税等の会計処理 税込方式によっている。

(6) 経常費用について

費用については主要な活動別に区分して表示している。

① ソーシャルミッション

人道活動援助費用、活動のためのスタッフ募集等、医療及び研究・開発、広報およびアドボカシー費用など活動をサポートする費用

② 募金活動費

③ 管理部門費

④ その他 MSF 海外オフィス費用及び必須医薬品キャンペーン・新薬開発イニシアティブへのサポート費用

2. 基本財産および特定資産の増減額 該当事項はない。
3. 基本財産および特定資産の財産等の内訳 該当事項はない。
4. 担保に供している資産 該当事項はない。

5. 固定資産の取得価額、減価償却累計額および当年度末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額および当年度末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当年度末残高
建物附属設備	54,016,634	52,377,139	1,639,495
事務用什器・備品	121,593,928	89,080,654	32,513,274
什器	20,184,465	18,484,112	1,700,353
器具・備品	94,966,765	64,430,484	30,536,281
ビデオ機器	6,442,698	6,166,058	276,640
ソフトウェア	104,901,296	64,688,003	40,213,293
総計	280,511,858	206,145,796	74,366,062

6. 保証債務等の偶発債務 該当事項はない。

7. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次の通りである。

(単位:円)

科目	金額
経常収益への振替額	
目標達成による指定解除額	45,777,000
総計	45,777,000

8. 退職給付引当金

(1) 採用している退職給付制度の概要 内部規定に基づき、退職一時金制度を設けている。

(2) 退職給付債務およびその内訳

退職給付債務 48,471,600 円、退職給付引当金 48,471,600 円

(3) 退職給付費用 8,791,500 円

9. 当年度の人道援助プログラム支援金の配分内訳

(単位:円)

	国内支援者からの寄付	プログラム支援金合計
MSF フランス	5,707,200,000	5,707,200,000
MSF スペイン	1,902,400,000	1,902,400,000
MSF スイス	475,600,000	475,600,000
MSF オランダ	475,600,000	475,600,000
MSF ベルギー	475,600,000	475,600,000
MSF WaCA	475,600,000	475,600,000
総計	9,512,000,000	9,512,000,000

10. 重要な後発事象 該当事項はない。